



星のっ子だより

(文責 徳永)

NO.9

〈学校教育目標〉

郷土を愛し、将来を見つめ、賢く、優しく、逞しく生きる「星のっ子」の育成

〈令和2年度重点目標〉

星野に誇りをもち、めあてに向かって主体的に努力し続ける子どもの育成

令和2年度 前期終了！

10月9日、令和2年度前期の終業式を行い(リモート放送による)ました。終業式の中で、3年生の〇〇〇さん、6年生の〇〇〇〇さんが前期を振り返って発表をしてくれました。

お陰様で星野小学校の子どもたち97名、教職員共に健康で元気に学校生活を送り、無事に前期を終了できることを嬉しくありがたく思います。これも保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援・ご協力のお陰だと感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、本日、各担任より子どもたちに「のびゆく子ども」(通知表)を渡しています。子どもさんの前期の学習・生活の様子を評価して記しています。是非、各ご家庭で子どもさんの頑張りや成長をしっかりと褒めていただきたいと思います。それから、土・日の休日を挟み、12日から後期の始まりとなります。心新たに後期を過ごしていけるよう願っています。

9月25日 「出前授業(5・6年生)」で防災の大切さを子どもたちに ～星野小・中学校校区 令和2年度 学校安全総合支援事業から～

学校安全総合支援事業の一つとして9月25日に、KBC九州朝日放送が行う「いのちを守る」防災出前授業が本校にて行われ、5・6年生が参加しました。今回は、NTT西日本の協力のもと、柳川市の六合小学校とテレビ会議をしながら授業が進められました。この2校は、平成24年の九州北部豪雨で校区内に被害が発生した矢部川上流(星野小)と下流(六合小)に位置する学校という共通点があります。講師の太田先生(KBC報道情報局解説委員)による授業では、各校の学校紹介のあと、災害時の行動について大切なことや防災リュックの準備について・大きなビニール袋での雨合羽作りや新聞紙での簡易スリッパ作り・柳川市の当時の被災場所からのドローンによる中継・星野村で当時被災された地域の後藤さんのお話などがありました。子どもたちは、話をよく聞いて、しっかり取り組み、災害の恐ろしさや事前の準備の大切さ、防災への正しい知識を学びました。貴重な体験ができた5・6年生でした。

【真剣に授業に
取り組む子ども】

【災害当時の様子
を話してくださった
後藤さんと太田氏】



各学年の「親子ふれあい活動」へのご参加、 ありがとうございます！

本年度の「親子ふれあい活動」は、コロナウイルス感染拡大防止のため、年度当初に計画していた日時・内容等から変更しての実施となり、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。また、各学年のPTA学級委員さんには、計画・実施までお世話おかけします。現在、5年生(9月11日実施;2分の1+1成人式)と3年生(9月18日実施;鍵かけ作り)のふれあい活動が終了しています。お忙しい中に、参加していただきありがとうございました。お家の方と子どもたちで、楽しい時間を持てたことでしょう。他学年の活動日等については、各担任からお知らせがあります。よろしくお願い致します。



【上;5年生 下;3年生】



学校職員が増えました！

福岡県の「市町村立学校学習指導員等配置事業」(新型コロナウイルス感染症による学校臨時休業の対策としたもの)により、各学校に学習支援員(学級担任の補助、児童への支援)とスクール・サポート・スタッフ(主に校内の消毒など感染症対策、健康管理)が配置されることになりました。本校では、9月より学習支援員として角田豊美先生・栗原るみ子先生(それぞれ1週間に2日ずつ勤務;主に3・4年生を中心に支援)に、スクール・サポート・スタッフとして山科武子先生に勤務していただいています。職員が増え、子どもたちの支援が手厚くできるようになり、心強く思っています。